設置場所や映像ソフトに合わせて「スーパー」、「ナチュラル」、「シネマティック」の３つからお好みの映像を選ぶことができます。

●映像の自動調整モードは地上アナログ放送、デジタル放送、ビデオ入力の時にご使用できます。

映像モードの選びかた

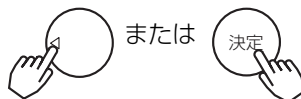
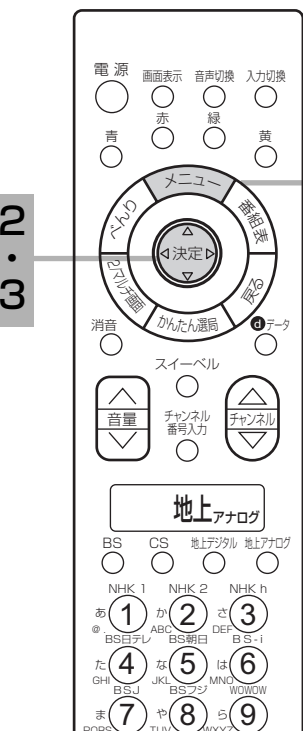
1 メニューボタンを押す

2 ○で「映像モード」を選び、○または決定ボタンを押し、○で設定する

メニュー	
ワイド切換	映画１字幕
画面サイズ微調	+１０
画面位置	＋　９
映像モード	シネマティック
音声モード	スタンダード
オフタイマー	９０分
デジタルch固定	しない
各種設定	〉
⊜選択　⊙決定	戻る

モードは下図のように切り換わります。

スーパー / ナチュラル / シネマティック

3 設定が終了したら○または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

メ　モ

●映像モードは、メニューの「映像」設定画面で選ぶこともできます。48

● PC 入力をご覧になっているときは、映像モードの切り換えはできません。

各機能について

スーパー

●鮮明でコントラストのある画像に調整します。

●明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

シネマティック

●黒補正、LTI、CTI など、お好みに合わせてより細かな設定ができます。49 50

●お買い上げ時は、映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適した設定となっています。

ナチュラル

●ご家庭で通常のテレビ番組、ビデオの再生などを楽しむときに適したモードです。

●お買い上げ時は、映像を白つぶれのない自然な明るさに自動調整するオートコントラスト機能が動作します（「コントラスト」48 オート）。

メ　モ

映像モードについて

●映像モードは地上アナログ放送やデジタル放送、ビデオ１～ビデオ５の各入力モードごとに設定することができます。

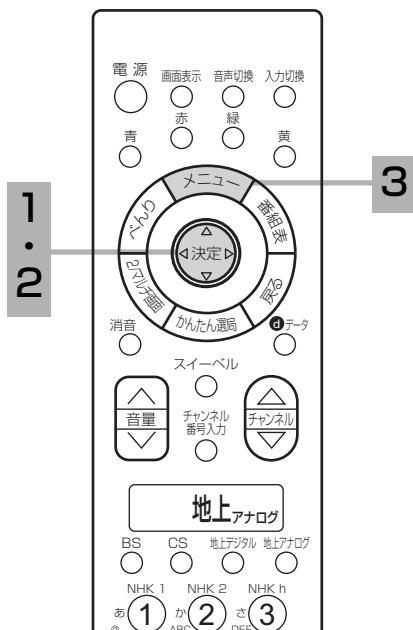
●各映像モードについて、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。48

●ご家庭でご覧になる場合は、映像を自然な明るさに自動調整する「ナチュラル」をお勧めします。

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。

● PC 入力時の映像設定は 191 をご覧ください。

明るさ、黒レベルなどの設定

24 の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 または で設定する

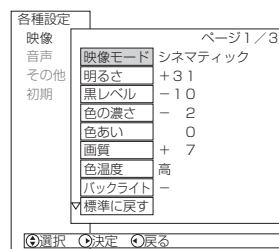
（例）明るさを調節する場合

で調節します。

各種設定
映像
音声
その他
初期

ページ1／3

映像モード	シネマティック
明るさ	+31
黒レベル	−10
色の濃さ	− 2
色あい	0
画質	+ 7
色温度	高
バックライト	−
標準に戻す	

選択 決定 戻る

映像設定項目	または		設定のポイント
映像モード	スーパー / ナチュラル / シネマティック		設置場所や映像ソースに合わせて設定します。
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく。
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに（ややうす目の方が自然です。）
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように。
画質	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ。
色温度	低 / 中 / 高		室内照明などによる影響から色調を補正するときに設定します。
（液晶テレビモニター接続時のみ）バックライト	暗くなる	明るくなる	お好みに合わせて見やすい明るさに。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

各映像設定項目は、地上アナログ放送やデジタル放送、ビデオ 1 ～ビデオ 5 の各入力モードごとに設定することができます。また、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度、バックライトは映像モードごとに設定することができます。

2 設定が終了したら または決定ボタンを押す

●他の項目を設定するときは、手順 1 、2 をくり返します。
●設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

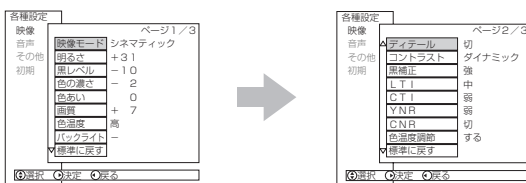
●明るさは、調節値が＋ 31 のときに ボタンを押し続けると、＋ 32 ～＋ 40 の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは＋ 31 までの範囲内でお使いください。
●ビデオ、DVD プレーヤー、テレビゲーム機器およびパーソナルコンピュータ等の静止した画像を長時間画面に表示しますとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する 76 、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。
●消費電力低減（強）に設定しているときは、明るさ（プラズマテレビモニター）またはバックライト（液晶テレビモニター）の調節はできません。69

ディテール、コントラストなどの設定

お好みに合わせてディテール、コントラスト,色温度調節の設定ができます。さらに映像モードで「シネマティック」を選んでいるときは、黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR の設定ができます。

●この映像設定は、PC 入力時ご使用になれません。

24 の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で 2 ページ目の「映像設定」を表示させる

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

（例）コントラストを設定する場合

で設定します。

映像設定 項　目		設定のポイント
ディテール	切 / 入	ビデオ入力またはデジタル放送で映像がギラギラしたり、ノイズが目立つ場合は「切」にします。
コントラスト	リニア / オート / ダイナミック	「リニア」: 映像の階調をできるだけ忠実に再現します。 「オート」: 映像の明るい部分を検知して白つぶれのない自然な明るさに自動調節します。 「ダイナミック」: 映像の階調にメリハリを付けて、コントラスト感を向上させます。
黒補正	切 / 弱 / 中 / 強	黒レベル補正を調節できます。
LTI	切 / 弱 / 中 / 強	輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI	切 / 弱 / 中 / 強	色信号の鮮鋭度を調節できます。
YNR	切 / 弱 / 強	輝度信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
CNR	切 / 弱 / 強	色信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
色温度調節	する / しない	色温度調節機能のする / しないを選択します。 「する」のときはお好みに合わせて色温度を調節できます。 50
標準に戻す	はい / いいえ	「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●地上アナログ放送やデジタル放送、ビデオ 1 ～ビデオ 5 の各入力モードごとに設定することができます。
●ディテール、コントラスト、色温度調節は、映像モードごとに設定できます。
●黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR は、映像モードの設定が「シネマティック」のときに設定できます。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

設定後は、チャンネル切換や電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

ディテールについて

●地上アナログ放送をご覧になっているときは設定できません。
●ディテールを入 / 切すると同時に、画面が水平方向に若干動く場合がありますが、故障ではありません。

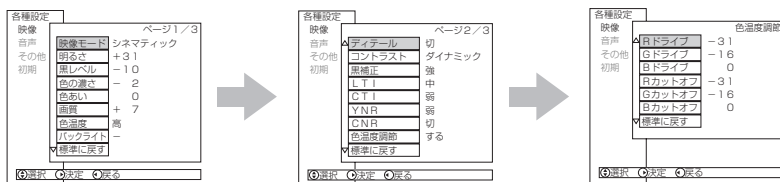
さらにお好みの映像設定をしたいとき（つづき）

色温度の調節

色温度調節「する」49のときは、お好みに合わせて色温度を調節することができます。

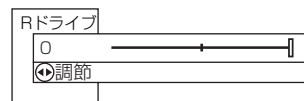
●この色温度調節はPC入力時ご使用になれません。

24の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「色温度調節」画面を表示させる

●色温度調節画面は、2ページ目と3ページ目の間に表示されます。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で調節する

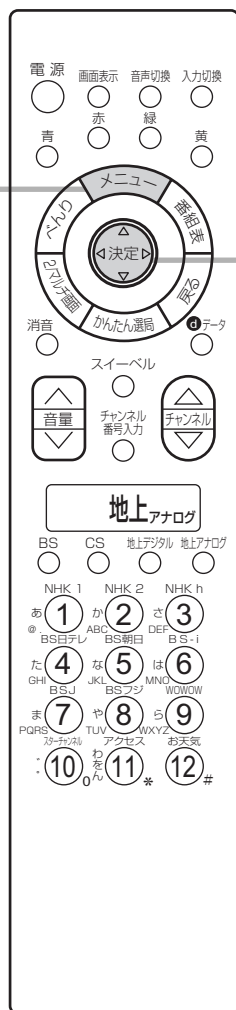
（例）Rドライブを調節する場合

で調節します。

映像設定 項目	または			調節のポイント
Rドライブ	明るい部分の赤がおさえられる	−63〜0	調節しない	明るい部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gドライブ	明るい部分の緑がおさえられる	−63〜0	調節しない	
Bドライブ	明るい部分の青がおさえられる	−63〜0	調節しない	
Rカットオフ	暗い部分の赤がおさえられる	−31〜+31	暗い部分が赤っぽくなる	暗い部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gカットオフ	暗い部分の緑がおさえられる	−31〜+31	暗い部分が緑っぽくなる	
Bカットオフ	暗い部分の青がおさえられる	−31〜+31	暗い部分が青っぽくなる	
標準に戻す	はい／いいえ			「はい」を選び、決定ボタンを押すと、調節量が0に戻ります。

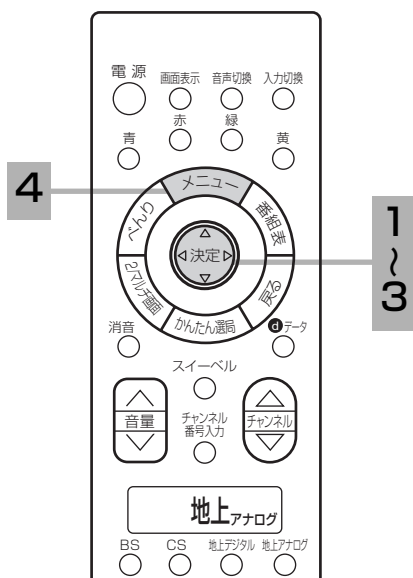
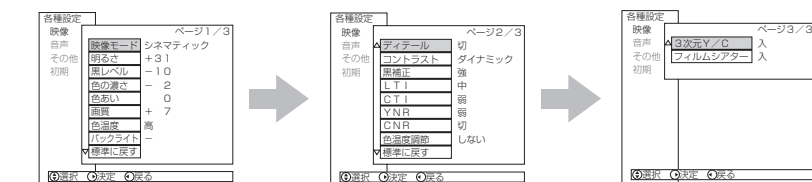
●色温度調節は48で選んだ色温度「高、中、低」のモード毎に調節できます。

3 設定が終了したら決定ボタンを押す

設定後は、チャンネル切換や電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

3 次元 Y/C、フィルムシアターの設定

ご覧になる映像ソースに合わせて、3 次元 Y/C、フィルムシアターの設定ができます。

24 の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で 3 ページ目の「映像設定」を表示させる

●色温度調節「する」のとき 49、3 ページ目の映像設定は、色温度調節画面の次に表示されます。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

(例) 3 次元 Y/C を設定する場合

で設定します。

映像設定 項　目	→	調節のポイント
3 次元 Y/C	入 / 切	ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
フィルム シアター	入 / 切	「入」: 映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。 「切」: 映像の切替り時が自然に見えないときは「切」にします。

フィルムシアターは、地上アナログ放送やビデオ 1 〜ビデオ 5 の各入力モード毎に設定することができます。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

3 次元 Y/C、フィルムシアターの設定は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

フィルムシアターについて

「入」でご覧になると、次の様な不自然な映像になる場合があります。

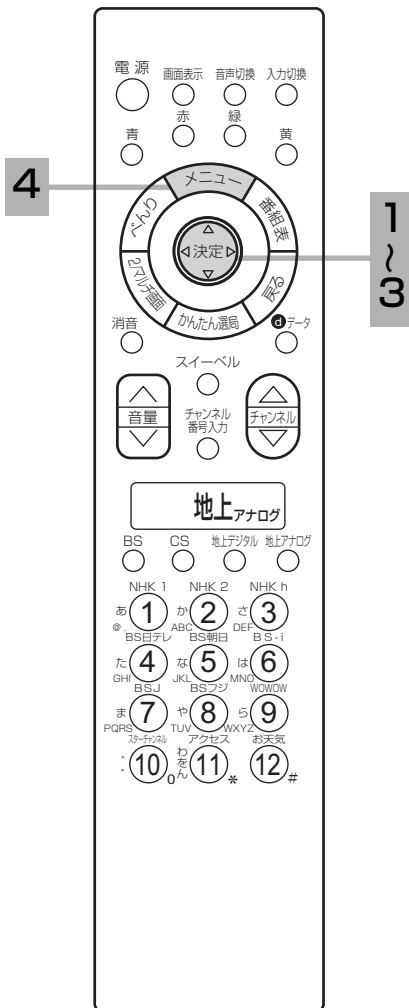
- ●映画の字幕や映像が切り換わるときに細かい横スジ状に見える。
- ● CM やアニメーションなどのシーンの切り換わりで、映像が細かい横スジ状に見える。
- ●テロップや字幕が流れたときに、文字がギザギザに見える。

これらの現象は映像の製作方法によるもので、故障ではありません。気になる場合は、フィルムシアターを「切」でご覧ください。

メ　モ

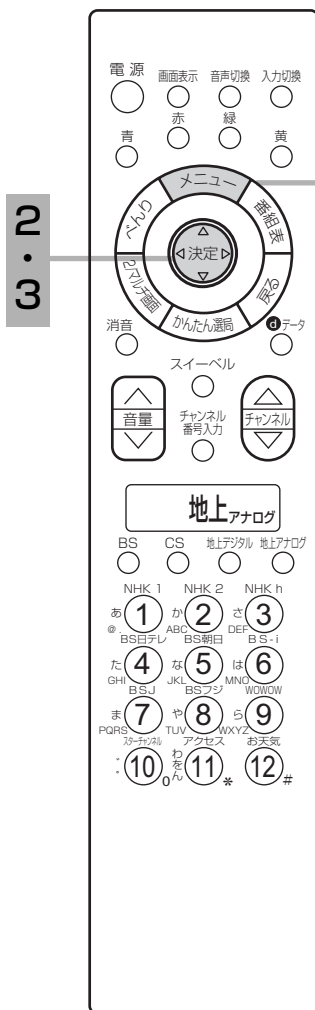
- ● 3 次元 Y/C 設定は、PC 入力、S 映像入力、コンポーネント入力、デジタル放送をご覧になっているときは設定できません。
- ●フィルムシアター設定は、PC 入力をご覧になっているときは設定できません。また、コンポーネント入力またはデジタル放送をご覧になっているときは、本機と接続するテレビモニター部のタイプや映像 / 放送フォーマットにより設定できない場合があります。この場合は、設定項目がグレーで表示されます。

映像特殊設定について

店頭展示用の設定です。通常は「しない」でお使いください。

24 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「映像特殊設定」を選び、または決定ボタンを押す

2 でモードを選ぶ

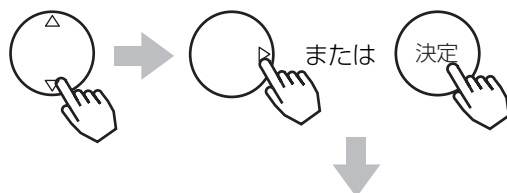
各種設定
映像
音声
その他
初期
ページ1／2
入力自動録画 ：する
かんたん操作 ：1
スイーベル操作 ：しない
フルモード表示 ：フル2
映像特殊設定 ：しない
デジタル出力
低消費電力
ワイド制御信号検出
スクリーンセーバー
■しない
□固定
□デモ1
□デモ2
設定 設定終了

で下記モードが選択できます。

「しない」 ：通常モード
通常はこのモードでお使いください。
「固定」 ：映像設定の固定モード
映像設定の操作はできません。
「デモ 1/ デモ 2」：映像のデモモード 1/2

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

1 メニューボタンを押す

2 で「音声モード」を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

メニュー

ワイド切換	映画１字幕
画面サイズ微調	＋１０
画面位置	＋　９
映像モード	シネマティック
音声モード	スタンダード
オフタイマー	９０分
デジタルch固定	しない
各種設定	

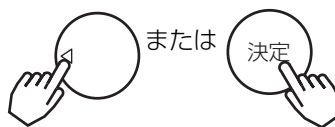
選択　決定　戻る

下記モードを選択できます。

音声モード
- ■スタンダード
- □ミュージック
- □シアター
- □スポーツ

設定

スタンダード / ミュージック / シアター / スポーツ

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

メ　モ

音声モードのお買い上げ時の設定について

●ミュージックは高音、低音を強調しており、音楽放送に適しています。
●シアターは中音を強調した設定になっており、映画放送に適しています。
●スポーツは高音を強調した設定になっており、スポーツ番組に適しています。

音声モードについて

各音声モードについて、高音、低音、バランス、ダイナミックバス（TruBass)、サラウンドはお好みの音声に設定できます。

音声設定をしたいとき

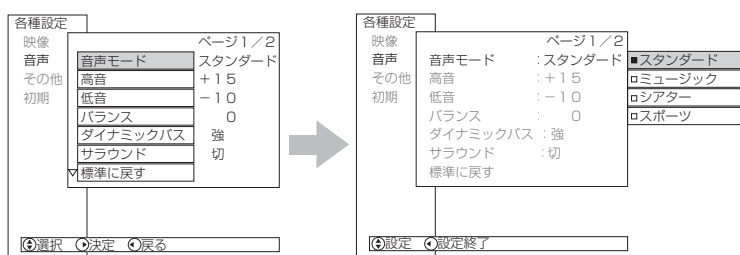
お好みに合わせて音声モード、高音、低音、バランス、ダイナミックバス、サラウンドなどの設定ができます。

24 の操作で「各種設定」の「音声」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

電源 画面表示 音声切換 入力切換 赤 緑 青 黄 メニュー 番組表 べんり 決定 2マルチ画面 戻る かんたん選局 消音 データ スイーベル 音量 チャンネル番号入力 チャンネル

1・2　3

1 で設定したい項目を選び、▷または決定ボタンを押し、で設定する

または 決定

映像設定 項目	▷ ➡		設定のポイント
音声モード	スタンダード / ミュージック / スポーツ / シアター		映像ソースに合わせて設定します。
高　音	高音がおさえられる	高音が強調される	高音、低音、バランスはそれぞれ－10～＋10までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。
低　音	低音がおさえられる	低音が強調される	
バランス	左スピーカーの音が強調される（－）	右スピーカーの音が強調される（＋）	
ダイナミックバス（TruBass）	切 / 弱 / 中 / 強		低音を強調する効果量を調節できます。お好みの設定にします。
サラウンド	入 / 切		「入」にすると、臨場感のある音声を再生することができます。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

2 設定が終了したら◁または決定ボタンを押す

●他の項目を設定するときは、手順 1 、2 をくり返す。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

●音量が大きいときにダイナミックバス /TruBass により低音が歪む場合があります。その場合にはダイナミックバス /TruBass の効果を弱めてください。
●サブウーハーをご使用になる場合にはダイナミックバス /TruBass の設定を「切」にすることを推奨します。

メ　モ

音声設定の効果について

●ダイナミックバス（TruBass）
ダイナミックバス（TruBass）の効果を切換えることにより、映画の臨場感、音楽のハーモニー感などをお好みの設定にできます。

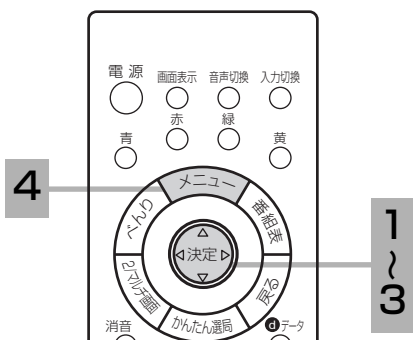
●サラウンド：入
臨場感のある音声を楽しむことができます。
地上アナログ放送、デジタル放送がモノラルのとき、ビデオ入力、PC 入力がモノラル音声のときは、サラウンドの効果はありません。ステレオ放送で雑音が多いとき、サラウンドを「入」にすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときには音声設定で高音を一側にするか、またはサラウンドを「切」にしてください。デジタル放送は、TruSurround 出力の設定 55 が優先されます。

音声モードのお買い上げ時の設定について
●ミュージックは高音、低音を強調しており、音楽放送に適しています。
●シアターは中音を強調した設定になっており、映画放送に適しています。
●スポーツは高音を強調した設定になっており、スポーツ番組に適しています。

音声モードについて
各音声モードについて、高音、低音、バランス、ダイナミックバス (TruBass)、サラウンドはお好みの音声に設定できます。

TruBass について
本機と接続するテレビモニター部によりTruBass と表示される場合があります。
　対象機種：W55-P5500 タイプ

音声 AGC（音量の自動調節）、ヘッドホンモード、ヘッドホン音量などの設定ができます。

24 の操作で「各種設定」の「音声」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で 2 ページ目の「音声設定」を表示させる

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

映像設定 項目	→		設定のポイント
音声 AGC	入 / 切		「入」にすると、チャンネル間や番組間の音量の差を自動的に調整して聞きやすい音にします。
ヘッドホンモード	1/2		「1」: ヘッドホンをご使用になるとき、スピーカーから音が消えます。2 画面時は、選択した画面の音が出ます。 「2」: ヘッドホンをご使用になっても、スピーカーからも音が出ます。2 画面時は、右側の画面の音が出ます。
ヘッドホン音量	音量が小さくなる（最小 0）	音量が大きくなる（最大 63）	ヘッドホンモードが「2」のときに、ヘッドホンの音量をお好みの音量に合わせます。
無信号音声ミュート	入 / 切		「入」にすると、地上アナログ放送の無信号チャンネルを選択した場合などにノイズ音を出さないようにすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる（最小 0）	音量が大きくなる（最大 63）	消音ボタンを押したときや無信号音声ミュートが働いたときの音量が変わります。 42
デジタル音声出力	AAC/PCM		光デジタル音声出力フォーマットを設定します。 「AAC」: MPEG-2 AAC 対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。 「PCM」: MPEG-2 AAC に対応していないオーディオ機器にに接続する場合に設定します。ただし、サンプリングコンバーターを内蔵している必要があります。
TruSurround	入 / 切		「入」: デジタル放送のときサラウンド効果のある音声が出力されます。 「切」: デジタル放送のときサラウンド効果のない、そのままの音声が出力されます。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

●他の項目を設定するときは、手順 2、3 をくり返す。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

ヘッドホンモードについて

●ヘッドホンモードを「1」から「2」に切り換えると、ヘッドホン音量は音量ボタンで調節した音量と同じ数字に書き替わります。

●ヘッドホンモード「2」から「1」に切り換えると、音量ボタンで調節した音量は、直前のヘッドホン音量と同じ数字に書き替わることがあります。

音声 AGC について

本機と接続するテレビモニター部により選択できない場合があります。

メモ

音声設定の効果について

●ミュート音量

消音ボタンを押したときや無信号音声ミュートが働いたときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。ただし、音量ボタンで調節した音量より大きい値にした場合は、消音ボタンを押しても音量は変わりません。

●ヘッドホンモード「2」の場合

ヘッドホンの音量を調節できます。
ヘッドホンを差し込んでもスピーカーの音は消えません。
スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

●無信号音声ミュート

地上アナログ放送の通常の 1 画面のときのみ働きます。2 画面、マルチ画面や PC ウインドウなどでは動作しません。
無信号チャンネルでも映像信号が漏れ込んでいる場合などでは、正しく動作しないことがあります。

●デジタル音声出力の設定について

地上アナログ放送やビデオ入力、PC 入力をご覧になっているときの光デジタル音声は、「デジタル音声出力」の設定にかかわらず「PCM」を出力します。